

永遠の平和を目指して

南城市立大里北小学校 六年 比 嘉 こまき

「じいちゃん、ひいおじいちゃんってどんな人だったの？」

私は以前そう、祖父に聞いたことがあります。それは、私のひいおじいちゃんは戦争で亡くなったのでどんな人か知らなかったから聞いたことでした。でも、祖父が戦争を体験したのは赤ちゃんの時だったので分かるはずがありません。当然ながら

「ごめんね。じいちゃんも分からんさあ。」と祖父は答えました。

私は、自分の父のことを知らないで育った祖父はともさみしかっただろうと思います。そして、私が同じような立場なら、父に会いたいと思うはずです。だから、悲しみやさみしい気持ちをおさえて育ってきた祖父はとてもすごい人だと思います。ひいおじいちゃんが生きていれば、私たちはもっと幸せでもっと楽しい生活を送っていたことでしょう。でも、残念ながら今はもうひいおじいちゃんは生きていません。しかも、私たちの家族に誰もひいおじいちゃんの事を知っている人はいません。ただ知っていることは、名前と、戦争で亡くなったということだけです。このような事実から私は、「こんなに悲しいことがあってはダメなんじゃないかな。名前しか分からないひいおじいちゃんは家族といってもいいのかな。」と考えます。

ひいおじいちゃんが亡くなった沖縄戦では、約二十万人の方々が亡くなりました。その中には、何の罪もない住民の方々。「絶対に生きて顔族のもとへ帰りたい。」と思っていた兵隊さんや、「家族と別れたくない。」と思いがながらも対馬丸に乗船して亡くなった方々がいたと思います。

戦争さえなければ、たくさんの方々が亡くなることはありません。そして、沖縄戦で亡くなった人々を思い、悲しむ方たちもいなかったことでしょう。

たくさんの方が亡くなった沖縄戦。このおそろしい出来事が今を生きている私たちに教えてくれたことは、「戦争は二度と起こしてはいけない」ということだと思います。「戦争を絶対に起こしてはいけない、起こしたくない」と考えるのは、私だけでなく、世界中の人々が同じような考えを持っているはずです。だから、私は戦争のない世界にするために考えます。

戦争を二度と起こさないためには、誰とでも仲良くすることが特に大切だと思います。

仲良くするということは、友情を大切にし、おたがいに助け合うことだと思います。

私も、兄弟とも友達ともみんなと仲良くするように心がけています。心がけていても、ケンカをしてしまう時があります。そんな時は、すぐに「ごめんね。」と一言言って、仲直りすれば、よりよい仲になれると思います。

仲良く出来なかったら、仲良く出来るように努力する、仲良く出来るようになったら、もっと友情を深め合う。大勢の人と仲良くなれば、世界中が仲良くなり協力し合うようになる。世界中が協力し合えば、戦争など二度と起こらない平和な世界を築いていけると 생각합니다。

私は、戦争で亡くなったひいおじいちゃん、つらく苦しい中を生き抜いたひいおばあちゃんにとっても感謝しています。

「ご先祖様がいるから、今の自分が生きている」ということをわすれないで、誰とでも仲良くできるように、みんなが仲良くなるように努力していきたいです。そして、次の世代、またその次の世代へと戦争のおそろしさと悲しさを伝えていきたいです。これから先、永遠に、戦争のない平和な世界を築いていくために。